



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 70

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 70. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1958, 70: 17-21

ISSUE DATE:

1958-07-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186796>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 70

1958 6月 (7月5日)

録 事

昨年度実験所で作成された「海の生物生態しゃしん集第1集」は水族館の外景、たいまい、とらうつぼ、みのかさこ、かわはぎ、がんがぜ、きさんごととけなしやぎ及びむらさきはなぎんちやくの8枚1組50円として、今月の始めより水族館で発売されることになった。

出来ばえは頗る上乘で、一般に好評を博し、早くも6月中に254部の売行きを見た。尚200部は奇贈分として残し、委員会総会の時配布されたものの他、京大総長、理学部長、博物館協会等80個所に奇贈した。

新宿舍「衆学荘」備付の家具調度類は一応ととのい、目下造園芝工を福寿園に請負わせ、実施中で、ひきつづき垣、通路側溝等の工事を進める筈である。尚これが管理者として布施委員を委嘱し、今月中に入居を完了した。

6日より南極観測船宗谷に始めて生物学者の隊員として参加され、この程帰国された吉井良三氏(京大教養学部助教授)が多数の採集品を整理するため来所された。11日夜同氏の御厚意により同氏撮影のカラースライド約100枚の映写会が寄宿舍で行われ、近隣多数の参集を得て盛会であった。

16日東大学士会館で行われた全国臨海実験所長会議に実験所を代表して宮地所長及び時岡所員が上京出席した。

17日番所山植物園に併設された動物園より連帯券取扱に対する4,5月分手数料として1万円を受領した。

業 務 概 況

◎ 6月の入場者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	5038	26888	9166	54345	14204	81233
小 人	390	2203	120	1053	510	3256
団 体	15950	52757	—	—	15950	52757
合 計	21378	81848	9286	55398	30664	137246
無料入場者	白浜小学校生徒 76				76	226
団 体	： 一般 129 組, 学生 8 組 計 137 組					

◎ 6月の事業収入

(今年度累計)

観覧券売上金	540,825	2,506,533
予金獨立金利子	—	231,000
雑 収 入	10,120	12,360
興 業 拂 下	—	6,340
絵はがき拂下	12,500	12,500
計	563,445	2,768,733

◎ 6月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	151,386	310,828	期末手当
会 議 費	1,970	46,261	
備 品 費	83,020	83,020	アクアランク用ポンベ1組
消 耗 費	15,320	48,322	
事 業 費	72,746	245,787	
維 持 費	16,680	20,660	
其 他 諸 経 費	11,589	246,671	定期身体検査
獨 立 金	111,187	4398,170	
合 計	463,898	5399,719	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	50,000	
奨 学 金	8,000	24,000	
備 品 費	63,480	63,480	ブラインド取付他
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	—	—	
役 務 費	—	—	
合 計	71,480	137,480	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	36,840	75,040	期末手当
備 品 費	40,000	51,020	テープレコーダー
消 耗 費	4,315	4,315	テープ他
役 務 費	—	—	
合 計	81,155	130,375	

臨時費

摘 要	金 額	累 計	備 考
宮地所長退養補助金	50,000	350,000	
合 計	50,000	350,000	

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	463,898	5,399,719
実験所経費	71,480	137,480
博物館経費	81,155	130,375
臨時費	50,000	350,000
計	666,533	6,017,574

◎ 6月末現在高

前月からの繰越	742,077
今月の収入合計	563,445
今月の支出合計	666,533
現 在 高	638,989

◎ 前年度との比較

	1957	1958	増 減
入 場 着 数	24045	30664	+ 6619
売 上 金	441,073	540,825	+ 99,752
支 出 金	353,357	666,533	+ 313,176

水 族 館 記 事

- ◎ 稚鯉崎の一本釣の魚も入り始めて、水槽は夏の色どりを添えてきた。
- ◎ アサヒガニが2日に10匹、14日に12匹入槽した。アサヒガニがこんなに大量に入ったことは近頃珍しい。聞けば新しい漁法をこの春から応用したので、採れるようになった由。
- ◎ ナヌカザメ1匹3日に死亡。
- ◎ 3日笠岡より購入したカブトガニ12匹が入槽。
- ◎ アカウミガメの卵24個を5日入槽した。
- ◎ 大きなツバクロエイが10日に1匹入槽したが12日に死亡。
- ◎ ミノカサゴ3匹13, 23, 29日と入槽したが、17, 25日に2匹死亡。
- ◎ マダコが18, 23, 29日に3匹死亡。
- ◎ 20, 24日と産卵に上ってきたアカウミガメを生捕って2匹入槽、今年初の新参として観迎される。
- ◎ クマノミ1匹が24日入槽
- ◎ 28日 コバンザメ2匹、ハマチ1匹が死亡した
- ◎ 28日この辺りには珍しいオキトラキス3匹とシマキンチャクソウが1匹入槽。
30日にオキトラキス1匹死亡。
- ◎ カノコイセエビが1匹25日に死亡した。
- ◎ 水族館に番傘10本を備え付け、長椅子に置クッションを取りつけた。 又アク
アラングによる材料集覧の需要が多くなったので、ポンベを1個増設した

資 料

- ◎ 6月の気象 (9時観測)
 雨水槽室 (水温比重はN0.25水槽)

	上 旬	中 旬	下 旬
晴天日数(14)	6	4	4
室 温(°C)	$\frac{21.7 \sim 24.6}{23.0}$	$\frac{22.4 \sim 24.5}{23.7}$	$\frac{24.3 \sim 27.3}{25.8}$
水 温(°C)	$\frac{21.54 \sim 22.82}{21.92}$	$\frac{22.73 \sim 24.20}{23.50}$	$\frac{24.07 \sim 25.62}{25.01}$
比 重(0.1)	$\frac{24.88 \sim 25.56}{25.13}$	$\frac{24.66 \sim 25.56}{25.21}$	$\frac{24.99 \sim 25.56}{25.37}$

取入口

水 温(°C)	$\frac{21.80 \sim 22.83}{22.37}$	$\frac{23.22 \sim 25.10}{23.97}$	$\frac{24.20 \sim 25.90}{25.27}$
比 重(0.15)	$\frac{24.66 \sim 25.56}{25.39}$	$\frac{24.88 \sim 25.56}{25.23}$	$\frac{25.29 \sim 25.63}{25.53}$

来 訪 録

6月20日 名古屋市中村百貨店企画課長加藤利迪氏来館。夏期の催物海の展覧会開催につき協賛を求められる。

6月20日 京大フルアライト交換教授Dr. Charles Hartshorne (米国エモリー大学哲学教授) イソヒヨの鳴声採集のため来訪。 22日帰洛。

昭和33年7月5日 (No. 70)

編集兼
発行者

内 海 富 士 夫

発行所

瀬戸 塩海 実験所振興会
和可 山県 白浜町
瀬戸 塩海 実験所内
(Tel. 白浜 515)